

塩尻市部活動地域移行計画（案）に対する ご意見の概要及び塩尻市の考え方

「塩尻市部活動地域移行計画（案）」についてパブリックコメントを実施したところ、市民の皆様から貴重なご意見をいただきました。誠にありがとうございました。

いただいたご意見等につきまして、塩尻市の考え方をとりまとめましたので、お知らせいたします。

○ 実施状況について

意見募集期間	令和6年4月30日（火）～令和6年5月30日（木）
資料公表場所	塩尻総合文化センター1階 学校教育課窓口、各支所、 地区センター、塩尻市公式ホームページ
意見の提出者数	5人

○ ご意見の概要とご意見に対する塩尻市の考え方

No,	ご意見・ご提案の概要	市の考え方
1	教員の負担軽減のためには、長期休暇、大会、試合を除き、休日の部活動をやめてしまえばよい。 （理由等） ・部活動の地域移行が技術のレベルアップを目的としているのか、教員の負担軽減を目的としているのか分からない。 ・技術のレベルアップが目的ならば、良い指導者から指	国のガイドラインに基づき長野県が進めている地域移行の目的は、「地域において、子どもたちが生涯にわたって豊かなスポーツ・文化芸術に親しめる環境を構築すること」と「教員の負担軽減により働き方改革を推進し、学校教育の質を向上させること」の2つであり、これらを達成するため、まずは令和8年度までに休日の部活動をやめ、地域クラブ活動へ移行するものです。

	導を受けられるようにするべきだし、教員の負担軽減が目的ならまずは休日の部活動をなくし、休日にも活動したいなら地域のサークル活動に参加すればよい。 ・休日と平日で指導者が変わることはよいとはいえない。けがや交通事故などは責任問題にもなる。	塩尻市におきましても、こうした国や県の方針に基づき、令和８年度末を目途に休日の部活動をやめ、中学生が希望する地域クラブ活動に参加できる環境づくりを目指しております。
2	少子化、教員の負担減のための部活動地域移行には賛成するが、大切な子どもを預けることになる指導者については、ガイドラインが必要。 (理由等) ・現在、小学生の子どもが地域のスポーツクラブに所属しているが、子どもの存在を否定するようなハラスメントや、できる子とできない子を区別するような不公平な指導をする指導者が見受けられる。 ・部活動を地域移行する際は、指導者に子どもへの接し方や、平等性をもたせる環境づくり等の講習をやってほしい。関係者と信頼関係を築き、子どもに充実感を与える指導を期待している。	適切な資質能力を身に付けた指導者を継続的に確保していくためにも、ご提案いただいたガイドラインの作成は大変重要であることから、今後、塩尻市中学校部活動地域移行等協議会などで検討してまいります。
3	練習や練習試合の場所は「できる限り中信地区にする」としていただきたい。 (理由等) ・地域移行すると、中信地区外や県外への遠征が当たり前になるのでないかと心配している。	本市が以前実施した保護者アンケートにおいても、保護者の送迎負担を懸念する意見が多かったことから、現状をふまえ可能な限り生活圏に近い場所で活動できるよう、検討を進めてまいります。

	・指導者が人脈を活かして練習試合等を決めてくれることはチームにとってはありがたいが、場所が遠方だと保護者に送迎の負担がかかり、結果的に子どもが活動を続けることが難しくなってしまう。	
4	「教職員の兼職兼業」と「適切な資質能力を身に付けた指導者の確保」について、もっと具体的に記載してほしい。 (理由等) ・今後地域移行が進んだとしても、指導者確保の面からも教員の協力が不可欠と考える。県教委から赴任されている教員が安心して勤務・兼業できるような記載にしてほしい。 ・長野県中学校体育連盟が示す指針では、競技別に「日本スポーツ協会公認指導者資格を有すること」など、具体的な指針が既に示されている。塩尻市の計画にも具体的に必要な資質能力を明記し、それを有する地域の指導者確保策として、費用負担の設定など具体的な支援策を明記すべきだと考える。	「教職員の兼職兼業」につきましては、地域移行後も指導を希望する教員が一定数いることから、ご提案のとおり円滑に許可が得られるよう規定を整備してまいります。 次に、ご指摘いただいた長野県中学校体育連盟が示す指針は、中学校体育連盟が主催大会に参加する地域クラブの指導者に対して求めているものであり、全ての地域クラブの指導者に対する指針ではありません。 指導者に必要な資質能力につきましては、今後作成するガイドライン等に明記できるよう検討してまいります。
5	有料化はやめて欲しい。 部活動の意義は大きく、子どもたちも教員を信頼しているので、教員から子どもたちを引き離すのはやめて欲しい。やりたくない教員とやりたい教員に分け、やりた	部活動がなくなり、希望する生徒のみが地域クラブ活動に参加するようになった場合、適正な指導者を配置し、種目によって差がない公平なクラブ活動を維持継続するために指導者への謝礼等の支払いが必要になるという観点から

い教員に時給を出してほしい。 (理由等) ・お金がかかるようになると、我が家は参加させることができない。体験の場がなくなる子どもが増えるのではないか。 ・ある先生が「競技者を育てているのではなく、部活動を通して人間形成をしている。」と言っていたが、確かに子どもたちが立派に育っているように思う。地域のコーチだと、その点は疑問が残る。	参加者から費用をいただくことはやむを得ないと考えております。 ただし、参加費用が原因で子どもたちの体験機会が損なわれないよう、参加費用の適正化や、経済的に困窮する家庭に対する支援などを検討してまいります。 次に、部活動の持つ情操教育的意義は大きいものの、これまで通り教員の献身的な支えにより継続することが難しくなっていることから、全国的に部活動の地域移行が進められています。ご提案いただいたとおり、やりたくない教員が指導をしなくてもよい環境と、やりたい教員が適正な報酬をもらって指導できる環境を目指し、取り組みを進めてまいります。
--	--